



千葉県中小企業団体中央会 会長

## 坂戸 誠一



新年あけましておめでとうございます。平成22年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

顧みますと、昨年は政治も経済も激動の1年でした。政治においては国民が総選挙で政権交代を選択しました。経済では一昨年秋季のリーマンショック以降の世界的な金融・経済危機により、戦後最悪といわれるリセッションを経験しました。その結果、金融機関はもとより製造業をはじめとした多くの産業、とりわけ中小企業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなり、多くの中小企業は生き残るために日々血のにじむような懸命な努力を続けています。一部には最悪期を脱したとの観測もありますが、供給能力の過剰や個人消費の低迷

による需要不足、そして円高とデフレ・スパイラルの脅威が再び現実味を増してくるなど、先行きの不透明感を払拭できないまま越年しました。

わが国が持続可能な成長を遂げ、豊かで安心できる社会を築いていくためには、日本経済の屋台骨である中小企業の活性化が不可欠です。そのためには環境変化に即応できる強靱な経営体質を備えた中小企業の育成が求められています。中小企業はこれまでにも幾多な試練に直面しながらも、その都度、持ち前の機動力や創造性など独自の強みを発揮して、生産活動や雇用創出において確固たる地位を築き、わが国経済の礎として重要な役割を果たしてきました。

今後とも中小企業がこの使命を全うしていくためには、今回の世界同時不況を新たな成長へのステップとして、以前にも増して付加価値の取れる製品・サービスを生み出す企業体質への転換が急がれているところです。しかしながら、こうした課題に個々の中小企業が自助努力だけで取り組むことは容易なことではなく、組合等の連携組織のネットワークを最大限

に活用し、個を超えた連携の総合力こそ、真の競争力の源泉として再認識されているところです。

本会といたしましても、やる気と能力のある中小企業が、組合等の連携組織を活用して、新たな課題にチャレンジするための支援機関として、引き続き中核的な役割を果たせるよう決意を新たにしているところです。昨年11月19日、幕張メッセ・イベントホールにおいて協同組合運動の同士3300名の参加を得て、第61回中小企業団体全国大会を盛会裏に終了することができました。これも偏に、関係機関のご支援と参加者各位のご協力の賜物であり、改めて厚くお礼申し上げます。

経済は雇用不安や二番底の懸念が出るなど、予断を許さない情勢が続いています。特に、これから年度末にかけては、さらに金融繁忙期に入ってきます。会員各位におかれましては、組合員の力と叡智を組合組織に結集して、ますますのご発展を遂げられますとともに、この新しい年が皆様にとりまして、より良い年になりますよう、心より祈念申し上げます。年頭の所感といたします。



千葉県 知事

## 森田 健作

新年明けましておめでとうござ  
います。

千葉県中小企業団体中央会並び  
に会員企業の皆様には、健やかに  
新春をお迎えのことと心からお慶  
び申し上げます。

私は、千葉県には成田国際空港、  
東京湾アクアライン、全国屈指の  
農林水産業や商工業、風光明媚な  
自然など、限りないポテンシャル  
があると繰り返し申し上げてまい  
りました。

特に昨年、アクアライン通行料  
金の引下げを早期に実現できたの  
は、ひとえに皆様をはじめ、千葉  
県民に力があるからこそであり、  
まさにオール千葉県の實力に他な  
りません。

現在、交通量は順調に伸びてお

り、観光など様々な方面に効果が  
現れてきています。

この効果をいかに活用し、地域  
の振興に結びつけていくか。本当  
に大切なのはこれからです。

県では、「東京湾アクアライン活  
用戦略」を策定し、市町村や民間  
事業者、地域の方々と一体となって  
観光産業の振興、企業立地の促進、  
関連道路網の整備など、戦略的に  
取り組んでまいります。

一方、県内の経済・雇用情勢は  
未だ明るさが見えず、中小企業の  
皆様方にとっても厳しい局面が続  
いていることと思えます。

県といたしましても、国からの  
交付金を基に造成した基金を活用  
して雇用を創出するほか、制度融  
資の貸付枠を過去最大に拡大する  
など、「千葉県総合経済対策」に基  
づく取組みを、全力で推進してい  
く所存です。

また今年度、県では政策の基本  
的な方向を総合的・体系的にまと  
めた県政運営の基本となる「千葉  
県総合計画」を策定することとし  
ています。

昨年11月に発表した原案では、  
「経済の活性化と交流基盤の整備」  
の柱の中で「中小企業の経営基盤

の強化」を施策の一つに掲げました。  
「中小企業の元気が千葉県の元気」  
を旗印に、県の中小企業支援施策  
の基本的な方向を定めた「ちば中  
小企業元気戦略」についても策定  
から3年半が経過し、現在直面し  
ている課題に沿った、より実効あ  
る戦略へと見直し作業を進めてい  
ます。

中小企業の皆様と手を携え、県  
内経済の活性化を強力に進めてい  
くための方向性を打ち出したいと  
考えています。

今年の干支は寅（虎）です。威  
風堂々の貫禄と、鋭い眼光を持つ  
虎。まさに力強さ、確固たる信念  
の象徴です。今年は、虎のように  
力強く、躍動する年にしようでは  
ありませんか。

私も「日本一光り輝く千葉県」  
を目指して、全力で頑張つてまい  
ります。

終わりに、本年が、皆様にとって、  
希望に満ちた年となることを心か  
ら祈念申し上げます、新年のあいさつ  
といたします。

全国中小企業団体中央会 会長

## 鶴田 欣也



新年明けましておめでとうございます。

平成22年を迎えるにあたり、全国の中小企業の皆様並びに組合をはじめとする中小企業連携組織関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年6月に佐伯前会長からバトンを引き継ぎ、会長として初めて迎える新年であります。

昨年は、政権の交代という大きな変化がありました。中央会関係についても、組合法施行60周年・団体法施行50周年記念式典が開催されるなど節目の年でした。景況は、過去最大規模の経済対策等により、最悪期を脱し、持ち直しつつあると言われましたが、経済効果の息切れとともに、二番底に陥

る懸念が広がりました。中小企業は、大幅な需要不足に基づく競争激化により、低価格受注や販売単価の下落に苦しみ、デフレリスクが強まり、雇用問題が一層深刻化し、先行きが見通せない経済社会情勢の中で、新年を迎えることとなりました。

本年こそは、自律的な景気回復軌道に乗る年としたいものであります。円高、設備投資の抑制、消費者心理の冷え込み、公共投資の削減など景気への懸念材料が多く、先行きは極めて厳しい状況にあります。

このような情勢下において、中小企業がわが国経済の活力の源泉として、その役割を果たしていくためには、成長するアジア諸国との連携による外需拡大、低炭素社会や健康長寿社会の実現に向けた成長産業への積極的な内需振興等を図り、自らがグローバル化、環境・エネルギー技術の高度化、健康・医療・介護サービスの高付加価値化に積極的に取り組むことが必要であります。

一方において、経営環境の厳しさが続く中では、経営資源に制約のある中小企業は、個々では解決

し難い課題も多く、中小企業組合をはじめとするネットワーク組織を活用し、経営資源を相互補強することにより、新事業を展開していくことが重要であります。

本年は、予算編成、税制改正、経済成長戦略の策定や地域主権・地方分権の推進など、景気を含めて中小企業をとりまく環境は、激しく変化することが予想されます。

このような中において、ブロック会長会への出席、トップセミナーの開催などを通じて、都道府県中央会の会長との対話の場をつくり、「開かれた中央会」を実現し、中央会及び組合等連携組織の発展に全力をあげて参る所存であります。

中小企業並びに中小企業連携組織関係の皆様におかれましては、極めて厳しい情勢下にはありますが、新たな年を迎え、決意を新たに中小企業の振興・発展のために力強く邁進されますことをご期待申し上げますとともに、本年が皆様にとってよい年となりますようご祈念申し上げます。私の年頭のご挨拶と致します。

(株)商工中金千葉支店 支店長

## 渡邊 勉



新年明けましておめでとうございます。

平素は、当金庫業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。平成22年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、平成21年は、金融危機により世界経済が急速に悪化する中で幕を開けました。その後、各国で財政・金融面での対策が実施されるにつれ、わが国の景気も底打ちし、緩やかな持ち直しに転じました。一方、雇用環境悪化による個人消費の低迷等からデフレの懸念が強まりつつあるなど、先行きについては楽観できない状況が続

ております。

中小企業の景況を当金庫の「中小企業月次景況観測」で見ると、昨年1月の景況判断指数(24・8)は過去の景気後退局面における最低値(36・7)であった平成10年(98年)6月を大きく下回りました。その後景況の悪化度合いはやや弱まりつつありますが、景況判断指数の水準は依然として低く、売上高は前年対比で大幅な減少が続いております。

このような環境下、昨年5月には当金庫の危機対応業務の事業規模が3兆円追加され、4・2兆円へと大幅に拡充されるとともに、6月には、必要な財務基盤の確保を目的とした危機対応準備金の創設、政府保有株式を全て処分する期限の延期等を含め、これを受けて7月には危機対応準備金として1500億円の資本増強が行われました。

当金庫としましては、求められる役割の大きさを十分認識し、国や中小企業の皆さまの熱い期待にしっかりと応えるべく、セーフティネット機能の発揮を最優先事項とし、法定された指定金融機関とし

て危機対応業務を中心にその機能の発揮に全力をあげて取り組んでまいりました。

今年も厳しい経済・金融環境が続くことが予想されますが、当金庫としましては、引き続き皆さまからの相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともにこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思っております。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

# ■ 案 内

## 千葉県中央会の事務局機構

電話はダイヤルインです。担当の部・課・室へ直接おかけください。FAXは共通 **043-247-8410**  
専従役員への電話は総務課へ、事務局長へは工業支援課へおかけください。本年も宜しく願っています。

■専務理事＝佐藤 敏雄 ■常務理事＝伊東 雄二

■事務局長＝藤原 誠

部・室名等	課・担当者名等	主なしごと	Tel
■ 設立相談室 浜野室長	錦織副室長 鳥居副室長 齋藤(昇) 副主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合等の設立相談</li> <li>・組合の定款変更、登記、決算書の届出等事務管理の相談</li> <li>・創業・連携推進事業</li> <li>・外国人研修生受入調査等</li> </ul>	043-306-3285
■ 連携支援部 今関部長	【商業支援課】 橋本課長 海老根副主幹 豊田主事 鷺崎主事 渡邊主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合等新分野開拓事業</li> <li>・連携組織活性化研究会（一般枠）</li> <li>・個別専門指導事業</li> <li>・地域力連携拠点事業（経営革新）</li> <li>・官公需対策</li> <li>・組合研究集会</li> <li>・モデル組合</li> <li>・小企業者組織化特別講習会</li> <li>・共済制度の普及</li> <li>・金融相談</li> </ul>	043-306-3284
	【工業支援課】 斉藤(清) 課長 福永副課長 田川(花) 主事 箱崎主事 木村主事 古屋[診断協会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合等新分野開拓事業</li> <li>・連携組織活性化研究会（一般枠・異業種枠）</li> <li>・新連携・経営革新促進事業</li> <li>・個別専門指導事業</li> <li>・組合事務局強化事業</li> <li>・組合青年部育成事業</li> <li>・地域力連携拠点事業（経営革新）</li> <li>・金融相談</li> </ul>	043-242-3277
	【経営支援課】 河野副部长（兼課長） 東主幹（兼副課長） 白井主査 池澤主事 堀江主事 （ものづくり支援事業 地域専従者） 武智診断士 助村診断士 時田診断士 （地域力連携拠点事業 応援コーディネーター） 増野主任（診断士） 清水主任（診断士） 池永副主任（診断士） 石井（和男）診断士 野々上診断士 石井（修）診断士 岡林推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域力連携拠点事業 経営力の向上支援（IT活用、知的財産、地域資源活用、農商工連携等） 創業・再チャレンジ支援事業 事業承継支援事業（相談、情報提供）</li> <li>・ものづくり製品開発等支援事業 試作開発支援、実証等支援</li> <li>・次世代育成支援対策推進センター</li> <li>・中小企業人材確保推進事業の支援</li> <li>・労働事情実態調査</li> <li>・女性経営者等育成事業</li> <li>・組合士関連事業</li> <li>・組合事務局へのシステム研修</li> <li>・中小企業団体情報連絡員の設置</li> <li>・中小企業景況調査</li> </ul>	043-306-3282
■ 総務部 岩崎事務局次長 （兼総務部長） 興津事務局次長	【総務課】 田川(幸宗) 副課長 古沢主査 宮崎主事 船渡川調査役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の加入・脱退手続き</li> <li>・総会、理事会及び委員会の開催</li> <li>・会費の賦課</li> <li>・組合等の表彰</li> <li>・機関誌の発行、資料収集加工</li> <li>・ウェブサイト、ネットワークシステムの管理</li> <li>・書籍の販売（組合法の解説等）</li> </ul>	043-306-3281

URL:<http://www.chuokai-chiba.or.jp> E-mail [web-master@chuokai-chiba.or.jp](mailto:web-master@chuokai-chiba.or.jp)

# 「エネルギー」の目

## バイオマスについて

### 再生可能エネルギー

民主党鳩山新政権は「2020年までのCO<sub>2</sub> 25%削減」を宣言した。

巷では様々な議論が行き交っている。当然本気で立ち向わなければ達成できるはずがない。

昨今「グリーン・ニュー・ Deal」政策が世界的に注目されている。CO<sub>2</sub>削減のため石油などの化石燃料から脱却して、再生可能エネルギーへの投資や環境対策の「グリーンジョブ」によって、景気浮揚と雇用創出を図る政策である。欧米では、再生可能エネルギーの導入を支援する政策や取り組みが積極的に行われ、広く普及している。

再生可能エネルギーとは、自然界で起こる現象から取り出すことができ、一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源のことである。(別図)

再生可能エネルギー (実用段階)	自然エネルギー	太陽光発電
		風力発電
		地熱発電
		波力発電
		太陽熱利用
		雪氷熱利用
	バイオマスエネルギー	バイオマス発電
		バイオマス熱利用
		バイオマス燃料利用
	リサイクルエネルギー	廃棄物発電
		廃棄物熱利用
		廃棄物燃料利用
		温度差エネルギー
		クリーンエネルギー自動車
		天然ガスコージェネレーション
燃料電池		
従来型エネルギーの新利用形態 (普及段階)		

再生可能エネルギー

バイオマスとは「生物由来の物質、食料や資材、燃料、資源」と考えられる。特に、再利用とかりサイクルといわれるバイオマスは、生物由来の資源と言える。

生物は大きく植物、動物、菌類(きのこ、カビ)などに分けられる。植物由来のバイオマスを植物バイオマスといい、植物バイオマスは、水中の藻や水草からなる水生バイオマス、雑草やササ、農作物からなる草本バイオマス、木が由来となる木質バイオマスなど、由来となった植物の形態によって分類する。

その他、動物の死骸や糞などの動物バイオマス、生ゴミや産業廃棄物の廃棄物バイオマスなどがある。

### カーボンニュートラルとは

バイオマスは植物主体の資源で、その成長過程で太陽光を吸収して光合成を行い、大気中のCO<sub>2</sub>を吸収する。全てのバイオマスのもと

は、太陽の光エネルギーと空気中の二酸化炭素であるといえる。

太陽と水と炭酸ガスそして植物がある限り永遠につくり続けることが出来る。これを資源として使った際、放出されるCO<sub>2</sub>の量は、光合成で吸収した量とほぼ同じで吸収する量と、放出する量が同量で大気中のCO<sub>2</sub>を増加させることにはならないと考えられる。

このような特性のことを「カーボンニュートラル」と呼ぶ。

昔は森林や緑が多くあったおかげでCO<sub>2</sub>のバランスが取れていたが、森林の大量伐採、化石エネルギーの大量消費による必要エネルギー量の増加に伴い、CO<sub>2</sub>のバランスが完全に崩れてしまった。つまり今の地球はCO<sub>2</sub>が多すぎ、結果として地球温暖化現象を引き起こすに至った可能性がある。

光合成によってつくりだされるバイオマスをエネルギーに換算すると、世界人類が使用している全エネルギーの8〜10倍もあると言

# 視 点

われている。ところが、バイオマスが成長する場所(森林など)と我々が生活する場所が離れていた、嵩張っていて、石油や石炭などの化石燃料に比べて扱いにくいなどの理由で、今まではあまり利用出来なかった。

ところが、近年、地球温暖化防止の切り札の一つとして注目を浴びるようになった。

## バイオマスの種類

「バイオマスニッポン総合戦略」ではバイオマスを①廃棄物系バイオマス、②未利用バイオマス、③資源作物の三つに区分している。

### ① 廃棄物系バイオマス

生ゴミ、廃食油、剪定枝、廃木材、家畜のし尿、下水汚泥等の廃棄物系バイオマスは、その利活用に係る費用面等の経済性を考えた場合、逆有償、すなわち、廃棄物処理費を付加して収集されるため、その費用を利活用のためのコストとして使用でき、今後も利用率が向上することが予想される。

さらに、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律等、個別リサイクル法の規



バイオマスの種類

制の基にエネルギーや製品として利活用され、今後、制度の浸透、収集・輸送、変換の効率化等によって、さらにその利活用の進展が期待される。

### ② 未利用バイオマス

間伐材、稲ワラ、バガス(サトウキビの搾り粕)、トウモロコシの茎芯葉等、生産・排出者側の努力による効率的な収集システムの確立等、生産・流通・加工のコスト

ダウン、製品・エネルギー利用の拡大を目指した、新たな技術を活用したビジネスモデルの導入等により、その利活用が進むことが期待される。

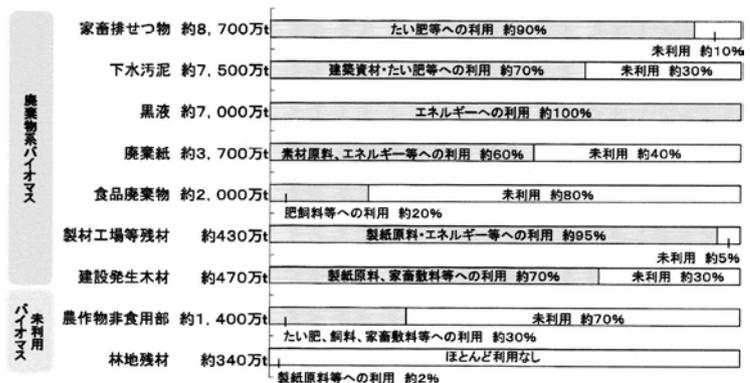
### ③ 資源作物

サトウキビ、トウモロコシ、パームヤシ、米等、エネルギー源や製品材料とすることを主目的に栽培される作物で、サトウキビ等からバイオエタノールを製造し、ガソリンとの混合燃料として利活用するなどの実験・実証レベルの取組が行われている。

一方では食料生産と競合するという大きな問題がある。食料自給率向上とともに、エネルギー自給率向上のため資源作物問題へ真剣に取り組むことは、今後避けられない重要課題となる。

## バイオマスの賦存(収集可能)量

日本国内でのバイオマスの発生規模(収集可能量)は別図の通りである。いずれもエネルギーとして、また産業資源として、利用しやすい形に変換する必要があり、代表的な変換方法が「発酵」、「ガス化」、「発電」、「固形化」、「液状化」等である。



バイオマスの賦存量

これらをいかに効率よく利活用するかが最重要課題となる。

バイオマスをエネルギー又は産業資源として、製品に変換する技術は、実用化段階から、研究開発段階まで、周辺技術も含め研究・技術開発が進められ、今後新たな環境ビジネスとしての事業化がおおいに期待される。

資料 バイオマスニッポン総合戦略他

(中小企業診断士 布施光義)

<p>千葉県醤油工業（協） 代表理事 太田 昭吉</p>	<p>千葉県石油（協） 理事長 堀江 亮介</p>	<p>関東自動車共済（協） 代表理事 小長谷政幸</p>	<p>千葉県農業機械商業（協） 代表理事 小関 邦夫</p>	<p>千葉トヨタ自動車販売整備（協） 代表理事 麻生 茂</p>
<p>千葉県製麺工業（協） 代表理事 佐藤 一郎</p>	<p>千葉県遊技業（協） 代表理事 大城 正準</p>	<p>千葉県自転車軽自動車（協） 代表理事 古川 博章</p>	<p>千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 石田 一太郎</p>	<p>千葉県コンクリート製品（協） 理事長 池田喜美夫</p>
<p>千葉県印章（協） 代表理事 宮崎 勝治</p>	<p>千葉船業（協） 代表理事 牧野 功</p>	<p>千葉市街地開発コンサルタント（協） 代表理事 嶋田 俊明</p>	<p>千葉化学工業薬品（協） 代表理事 岡田 隆治</p>	<p>（協）千葉電設協会 代表理事 田中 宏幸</p>
<p>千葉県産業廃棄物処理業（協） 代表理事 岡林 聡</p>	<p>（協）千葉県鐵骨工業会 代表理事 古橋 久</p>	<p>千葉県セメント卸（協） 代表理事 塚本 福二</p>	<p>千葉県建設防水工事業（協） 代表理事 鹿島清太郎</p>	<p>千葉県測量設計補償（協） 代表理事 中嶋 敏夫</p>

# ■ 謹賀新年

<p>(協) 千葉個人タクシー事業団 代表理事</p> <p>岡田 弘光</p>	<p>千葉市工業センター(協) 代表理事</p> <p>柿本 幹夫</p>	<p>千葉鉄工業団地(協) 代表理事</p> <p>坂戸 誠一</p>	<p>千葉エフピー(協) 代表理事</p> <p>下田 由起男</p>	<p>千葉市廃棄物リサイクル事業(協) 代表理事</p> <p>飯田 俊夫</p>
<p>(協) シー・ソフトウェア 代表理事</p> <p>金子 哲司</p>	<p>千葉県貿易(協) 代表理事</p> <p>横山 吉雄</p>	<p>千葉青果商業(協) 代表理事</p> <p>藤井 芳夫</p>	<p>千葉トヨペット整備工業(協) 代表理事</p> <p>勝又 基夫</p>	<p>千葉県板硝子商工(協) 代表理事</p> <p>小林 春巳</p>
<p>市川ストアサークル(協) 代表理事</p> <p>原 一郎</p>	<p>千葉県保険流通(協) 代表理事</p> <p>矢部 元茂</p>	<p>送変電機器千葉(協) 代表理事</p> <p>菊池 康文</p>	<p>市原市管工事(協) 代表理事</p> <p>根元 精一</p>	<p>(協) シー・ティー・ティー 代表理事</p> <p>青沼 彰</p>
<p>ふなばしインタックス(協) 代表理事</p> <p>篠原 敬治</p>	<p>千葉学習塾(協) 代表理事</p> <p>長谷川洋男</p>	<p>船橋総合卸商業団地(協) 代表理事</p> <p>飯ヶ谷岐美夫</p>	<p>船新青果小売商業(協) 代表理事代理</p> <p>藁 國夫</p>	<p>船橋機械金属工業(協) 代表理事</p> <p>板谷 直正</p>

<p>柏市管工事 (協) 代表理事 竹内 政二</p>	<p>柏駅前第一商業 (協) 代表理事 三好 迪夫</p>	<p>野田市再資源化事業 (協) 代表理事 西村 久行</p>	<p>松戸ビル管理業 (協) 代表理事 山下 勉</p>	<p>松戸総合卸売センター (協) 代表理事 佐藤 清</p>
<p>浦安市書店 (協) 代表理事 小林 栄喜</p>	<p>浦安建設 (協) 代表理事 鹿野新一郎</p>	<p>流山工業団地 (協) 代表理事 高橋 啓治</p>	<p>流山トラック事業 (協) 代表理事 伊ヶ谷武雄</p>	<p>柏市工業団地 (協) 代表理事 藤井 秀美</p>
<p>四街道工業団地 (協) 代表理事 清水 敬陽</p>	<p>臼井ショッピングセンター (協) 代表理事 野口 恭義</p>	<p>印旛食肉センター事業 (協) 代表理事 小川 進</p>	<p>浦安市リサイクル資源 (協) 代表理事 醍醐 辰雄</p>	<p>浦安貝類加工 (協) 代表理事 泉澤 正博</p>
<p>山武管工事業 (協) 代表理事 加藤 洋三</p>	<p>(協) 東金ショッピングセンター 代表理事 中村 秀朗</p>	<p>千葉県木材市場 (協) 代表理事 吉岡 實</p>	<p>(協) 佐原信販 代表理事 鈴木 重夫</p>	<p>(協) 酒々井ショッピングセンター 代表理事 細谷 篤</p>

# 謹賀新年

<p>千葉県漬物工業（協） 代表理事</p> <p>古宮 真一</p>	<p>金田魚介類仲買（協） 代表理事</p> <p>齋藤 剛一</p>	<p>大原中央商店街（協） 代表理事</p> <p>土屋 利夫</p>	<p>長生都市管工事（協） 代表理事</p> <p>小関 正幸</p>	<p>東金市ガス工事業（協） 代表理事</p> <p>鈴木 寿郎</p>
<p>千葉県印刷工業組合 代表理事</p> <p>日暮 秀一</p>	<p>千葉県電機商業組合 代表理事</p> <p>佐々木 義</p>	<p>柏市廃棄物処理業（協業） 代表理事</p> <p>鈴木 隆</p>	<p>千葉県建設業（協）連合会 代表理事</p> <p>石井 良典</p>	<p>小湊旅館業（協） 代表理事</p> <p>稲葉 靖</p>
<p>（社）千葉県エルピーガス協会 会長</p> <p>小野口 壽一</p>	<p>（振興）柏二番街商店会 代表理事</p> <p>石戸新一郎</p>	<p>千葉県中古自動車販売 商工組合代表理事</p> <p>北島 久男</p>	<p>千葉県鍍金工業組合 代表理事</p> <p>柴崎 三郎</p>	<p>千葉県牛乳商業組合 代表理事</p> <p>高橋 束</p>
<p>千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事</p> <p>佐久間厚尚</p>	<p>千葉県中小企業福利厚生協議会 会長</p> <p>柴崎 三郎</p>	<p>千葉県異業種交流 融合化協議会会長</p> <p>本田 周</p>	<p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会会長</p> <p>鹿野新一郎</p>	<p>千葉県自動車販売店協会 会長</p> <p>麻生 茂</p>

情報連絡員報告を中心とした

## 県内の中小企業動向

### 11月

#### ■パン製造 【県下全域】

12月4日に中央会による「食の安全とコンプライアンスについて」のセミナーを開催。

#### ■シャツ製造【千葉県・東京都】

前年比はかなり落ちている。工賃が下がって収益が厳しく、業界としては、倒産というよりも事業部廃止等の話を聞く。

#### ■製材 【県下全域】

住宅着工戸数の減少が続き、前月同様リフォーム需要に頼っている状況。組合としては、売上増を図るべく、10〜12月にポイント制を導入して実施中。

#### ■印刷 【県下全域】

今月の売上高は、前月と比較して官・民需共に低下した模様。

王子製紙が中国でパルプ工場の建設を再開した。円高で輸入紙が急増し、デフレのニーズに对应している。

#### ■電気鍍金【県下全域】

ここへきて、景況は悪化してきている。このままの状況で年末をむかえることになると思われる。

#### ■鉄工 【千葉】

設備の操業度は依然として低水準での推移が続いており、残念ながら好転には至っていない。

#### ■機械部品製造 【流山】

今月は、受注もあり売上も上がっている。しかし、その反動が現時点での12月は受注見込みがあまり望めない状況にある。

急激な円高によりドル建の企業に深刻な影響がでている。ドル調達時の契約金額が1\$=100円台であるため。

#### ■総合卸売 【千葉県・東京都】

秋口以降、景況が悪化している業種が増加。特に文具・事務機では対前年同期比売上が90〜95%となり、それに伴い、収益も低下している。

#### ■食肉卸売 【千葉市他】

団地内のテナントから賃貸料引下の申し出あり。

#### ■建築材料卸売 【県下全域】

消費低迷で食肉の国内在庫が増加したために価格も下がっている。生産者は経営が大変である。

#### ■需要払底で悪化の一途を辿っており、先行きが見えない。

セメントの原燃料は下がっているが生産激減のため1トン当たり

#### のコストが上昇、工場閉鎖や統合はやむなしだが、地元との廃棄物受入契約のため閉鎖縮小に支障あり。建設需要は官民とも激減。全国でも千葉が最も落ち込率が激しい。

#### ■自動車解体 【県下全域】

新規組員が1社加入。

#### ■電気機器小売 【県下全域】

エコポイントで救われているが、株価の下落、円高の影響でメーカーに元気が無く、顧客の買い控えが目につき、小売店は大苦戦。

#### ■中古車販売 【県下全域】

深刻な夕マ不足に拍車が掛っているが、積極的な仕入配もない。例年とは異なる展開で危機感をはらんだ状況になっている。

#### ■小売 【東金】

一段と節約志向が高まってきている。大手の低価格商品が回り、客単価の低下は止まらない。中小には死活問題。空き店舗対策、組合員の資金繰りを行っている。

#### ■小売 【野田】

衣料を中心とした冬物の動きが悪い。必要なもので、安い物しか買わない消費者マインドを感じる。

#### ■農業機械販売整備 【県下全域】

エンドユーザーは見通し難から、買い控え傾向強まる。

#### ■建設揚重 【県下全域】

受注単価の値下げ要請が増えてきた。一部では従来の単価では受注できない状況。

#### ■害虫防除 【県下全域】

今月に入って蜂の駆除依頼が減ったため、利益減少。ネズミ・ハクビシン（外来種）の増加が目立ってきている。

#### ■遊覧船 【鴨川】

どうしても天候に左右される。特に土日に荒天となるとびびく。

#### ■一般廃棄物処理 【千葉】

年末を目前に控え景況はかなり落込んだ月になったと思います。12月は3月と並んで繁忙期となるため、来月に期待したい。

#### ■土木建築サービス 【県下全域】

政府の事業仕分けの洗い出しの影響が懸念される。

#### ■ソフトウエア 【県下全域】

引き続き厳しい状況。

#### ■建設 【県下全域】

受注額は増えているものの、入札価格が落込んでおり、資金繰りは苦しい状況である。

#### ■貨物運送 【野田】

昨年の秋に比べると輸送量はかなり減っている。年末に向けて増加することを期待している。

### 働く人の

### メンタルヘルス・サポートサイト

仕事は大事だけれど、いちばん大事なことはない。

いちばん大事なのは、あなたのいのちです。

もし、悩みがあるのなら、どうぞこのサイトを訪れてください。

ここには、あなたの話にとことん耳をかたむける何人も人がいます。何時間かかっても、何回訪れてもかまいません。

もし、いま死にたいと思っても、一人で悩まないでください。楽しくなければ仕事ではありません。もちろん、働く人を支える、家族や事業者、全ての人の役に立つ情報も用意しています。ひとりでも多くの人に知ってほしい。

厚生労働省からのお願いです。

<http://kokoro.mhlw.go.jp/>  
◎お問い合わせ  
産業医学振興財団  
TEL 03.3.5584.5421

# トピックス・お知らせ

## 県等へ中小企業支援を要望

坂戸誠一会長は、昨年12月1日、千葉滋胤千葉県商工会議所連合会長、末吉一夫千葉県商工会連合会長とともに県庁を訪れ、森田健作千葉県知事に対して、①早期の自立的な景気回復に向けた着実かつ機動的な景気対策②小規模事業経営支援事業予算並びに中小企業連携組織対策事業予算の十分かつ安定的な確保③新型インフルエンザ対策の万全な対応④中小企業対策として金融支援の更なる弾力的な運用の実現⑤地方幹線道路をはじめとする社会資本の整備及びコンパクトで賑わい溢れるまちづくりとコミュニティの維持・復活⑥観光振興、農工商等連携事業など地域資源を活用した地域の中小企業の取組みに対する支援の強化を求める要望書を提出した。

また、3日には同3団体に千葉県商店街振興組合連合会（石戸新一郎会長）と千葉県商店街連合会（畔高敦司会長）の商工5団体で、県内選出の衆参両院議員に対し、先の要望に加え、①内外需一体となった持続的成長の実現②中小企

業等関係税制の拡充等を要望した。さらに、本会独自でも民主党千葉県総支部連合会に、事業仕分けで「ものづくり支援補助金」や「連携拠点事業」等が、来年度予算計画上見送りの評決結果に対して、今後予算編成の過程において復活するよう緊急要望した。

## 返済猶予法施行される

昨年12月4日、中小企業の借入金や個人住宅ローンの返済猶予を盛り込んだ「中小企業金融円滑化法」が施行された。

返済期間延長などの要請に応じるよう金融機関に促す内容で、年末・年度末を控えて資金需要が高まる中小・零細企業、個人を支援するもので11年3月末までの時限立法。同法は、返済条件変更への柔軟な対応を金融機関の努力義務にとどめる一方、金融機関に返済猶予の実施状況を開示・報告させることが骨子。

## 千葉県の緊急雇用対策

千葉県では、景気の悪化に伴う、非正規労働者の解雇・雇止めなど、

県内の雇用情勢の急激な悪化に対応するため、国や関係機関と連携して次のような雇用対策を実施しています。ご活用ください。

## 雇用調整助成金

景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に、休業、教育訓練又は出向に係る手当若しくは賃金等の一部を助成します。

## 中小企業緊急雇用安定助成金

雇用調整助成金制度を見直し、中小企業緊急雇用安定助成金制度を創設しました。（平成20年12月から当面の間の措置となります。）

景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に、休業、教育訓練又は出向に係る手当若しくは賃金等の一部を助成します。

## 離職者住居支援給付金

世界的な金融危機が雇用面にも急激に影響を及ぼす中、やむを得ず派遣労働者や有期契約労働者等

の雇用契約の中途解除や雇止め等を行った場合において、当該労働者に対し離職後も引き続き住居を提供するか、住居に係る費用を負担した事業主を支援するため、平成21年2月6日から離職者住居支援給付金が創設されました。◎詳細は千葉労働局管内の各ハローワークへ

## 労働者、事業主の皆さまへ

## 職場のトラブル、解決へのお手伝い

労使間の労働紛争の解決を促進するため、千葉労働局では総合労働相談コーナーを設置して、労働者又は事業主に対し、相談に応じています。

▼ご相談は無料です▼専門の相談員が電話又は面談により対応します▼ご相談の他に助言・指導制度、あつせん制度等のご紹介もいたします。

◎千葉労働局総合労働相談コーナー

TEL 042-221-2303

◎千葉駅前総合労働相談コーナー

TEL 0120-250-950

◎千葉労働局 <http://www.chiba-roudoukyoku.go.jp/>

[seido/kobetu.html](http://seido.kobetu.html)

## 協会けんぽ千葉支部 出張窓口廃止・営業日縮小

平成22年2月1日より縮小されます。

【千葉社会保険事務所の協会けんぽ窓口】協会けんぽ千葉支部窓口に統合

【千葉社会保険事務所茂原分室の協会けんぽ窓口】（営業日）月初日、週初日

【佐原社会保険事務所の協会けんぽ窓口】（営業日）月初日、週初日、週末日

\*営業日の詳細な日程は、後日協会けんぽの窓口等で広報します。\*営業日以外の日につきましては、協会けんぽ千葉支部の受付窓口をご利用ください。\*各種申請は郵送で行なうこともできます。\*HPでは、健康保険給付金の内容や、協会けんぽに関する情報を多数掲載しております。

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/13083.html>

◎全国健康保険協会千葉支部

〒260-0645

千葉市中央区富士見2-20-1

日本生命千葉ビル6階

TEL 043-2008-0521